



2021年4月15日

各位

会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
代表者名 代表取締役社長 池田 達彦
(コード番号 7506 東証第一部)
問合せ先 業務執行役員経営企画室長 小野 敏 健
TEL: 03-5114-5814(直通)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年4月15日開催の取締役会において、2020年10月15日に開示した「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて発表した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期業績予想につきまして、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期業績予想値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,000	百万円 △50	百万円 △40	百万円 △250	円 銭 △53.16
今回修正(B)	10,681	115	150	△67	△14.38
増減額(B-A)	△318	165	190	182	
増減率(%)	△2.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	12,683	200	196	31	6.62

2. 修正の理由

当期は、新型コロナウイルス感染症拡大が当社業績に与える影響について、合理的に算出することが困難であることから、当期業績予想につきましては、2020年10月15日に公表いたしました。

その後、新型コロナウイルス感染症の影響は一時縮小したかに見えましたが、冬期に入り再拡大し、本年1月7日に発出された再度の緊急事態宣言を契機として、主力である都市部店舗を中心に客数の減少を伴い売上高が減少、特に年間を通じて最も売上獲得が期待できるウインターセール売上が低調な推移となりました。この状況を受け、本来は1月31日迄としていたウインターセールを2月末日まで1カ月間延長することで売上高の減少を抑制し、一方でネット通販売上高が計画以上の伸長となったこと等により、全社売上高は当初予想から2.9%減に留まる見込みとなりました。また、費用面につきましては、高価格商品の販売強化及びネット通販の伸長により売上原価率が低下したことに加え、店舗家賃の低減交渉や広告宣伝費を始めとした経費全般の見直しを徹底し、合理化・効率化を推進したことで経費が削減されたことから、営業利益は当初予想では50百万円の営業損失としておりましたが、現時点で1億15百万円の黒字化を見込んでおります。

なお、配当予想につきましては、修正は見込んでおりません。

以上